

周知・活用で機能させよ いじめ防止条例

落合 信太郎



問 市みなでいじめをなくすための条例、周知は。

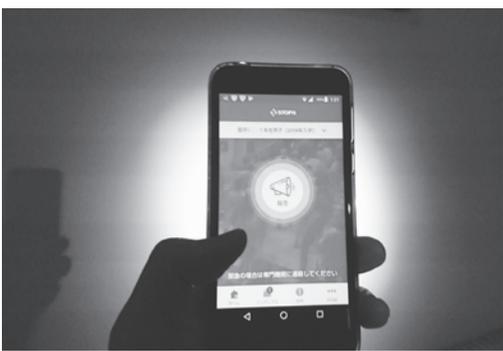
答 教育長 大切な条例で、重要課題の一つ。同じ理解を進めていくために種々施策を進めている。

指導課長 各種広報の他、児童相談所、民生委員・児童委員代表、市PTA連絡協議会会長など、さまざまな関係団体からなる「いじめ問題対策連絡協議会」を開催。また、条例の子ども用リーフレット配布や授業を通じて周知を図っている。

問 同協議会の今後は。

答 頂いた各地区の課題整理や地域の連絡機関の周知、基本方針の見直しや、スマートフォン使用のガイドライン作成などを検討。

問 導入したいいじめ通報アプリの状況は。



いじめ通報アプリの利用画面

答 傍観者にならないための授業とともに導入。通報50件中いじめに関するものが10件。8件は相談員がメールでやり取りをして解決へ。2件は学校へとつないだ。残り40件はいさつ的な内容が多かった。

問 市教育総合支援センターの運営状況は。

答 昨年4～8月の相談件数は115件。スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーを導入した今年度同時期は176件。学校を回って相談を聞いているので、件数も伸びてきている。

山王西部地区 要望に応え農道整備を

関川 翔



問 和田・岡地区の集落整備における農道の整備経緯は。

答 まちづくり振興部長 平成16年に国の認可を受け23年度に完了した山王西部集落地域整備統合補助事業。32・3畝の水田、1345畝の農道、1713畝の農業集落排水路の整備を実施。権利者の自己負担を極力抑える目的で主要農道以外は砂利敷きとした。

問 28年度に一部地域で、生活道路や通学路として利用されている農道の舗装要



施工当時は費用を抑えるために、未舗装で整備された農道

望 が高上がったが、見解は。

答 高齢者が増えたことや、通学路利用が予想より多いこと、地区の権利者の理解が得られたことなどが、度重なる地区との協議で確認でき、補正予算に計上した。

問 舗装事業の詳細は。

答 農政課長 3本並行している未舗装道路のうち最も北側の143.5畝、平均幅員2.5畝で、年内中の完成を予定している。

【その他の質問】 LED街路灯

反対表明を！ 東海第二原発再稼働

関戸 勇



問 7月16日、東海第二原発の過酷事故を想定し、藤代南中に東海村からの村民受け入れの避難訓練が行わ

れた。避難所の収容人数を1人2平方メートルで計画しているが、その面積では狭い。安心して避難所生活が送れるよう国際的な基準にある3.5平方メートルに変更すべき。安全安心対策課長 避難受け入れの守谷市、つくばみらい市と東海村との協議で決定している。今後、協議していきたい。

問 東海第二原発には、今でも使用済み核燃料が2千体以上、防備のない原子炉建屋のプール内にある。再び原発による被害を起こさないために、東海第二原発は再稼働せず、廃炉とするよう求めるべき。

まちづくり振興部長 エネルギー供給問題は、国の根幹的な施策。国の問題を基礎自治体が賛否を述べるのは場所が違う。市としては意思は示さない。

【その他の質問】 集中豪雨への対策

小中学校特別教室にもエアコン設置を

遠山 智恵子



問 異常気象、猛暑が今後も予想される。市内熱中症の救急搬送、今年は昨年の3倍であった。学校現場の状況は。

教育部長 小中学校の普通教室はエアコンを100%設置している。特別教室は



小中学校の普通教室にはエアコンが整備されているが、特別教室は一部を除いて未整備

一部を除いて未設置。体調不良は保健室等で対応した。

問 特別教室にも整備を進めてほしい。

答 小中学校20校の耐震補強工事を最優先し完了した。まだ大規模改造工事は6校残っているので、そこらを優先している。校長会からも要望は上がっているので課題認識はしている。

【その他の質問】 いじめ問題

**国際交流ツアー
適切な履行を**

細谷 典男



問 友好都市中国桂林市へのツアー、旅行代金にオプション分が含まれている。以前は含まれていなかったのになぜか。

政策推進部次長 観光に力を入れている桂林市であることを、参加人数が少な

かったために一団として行動することが望ましいとの考えであった。今後は団の規模を考慮して参加者の意思を反映できれば。

問 国際交流ツアーでの医師の同行はコストがかかる。米国ユーバ市の方には市から補助が出ているので桂林交流へも補助を。

答 医師の同行は、市事業の特徴でもある。次年度以降、派遣事業の補助については検討していく。

問 豪華なツアーでは参加できない人もいる。市が、ツアー仕様の適否だけを見ているのは同様なことが起こる。改善点は。

政策推進部長 旅行業法などの順守を図り、提出書類も十分精査していく。引き続き国際交流を積極的に進めていく。

【その他の質問】 藤代南中学校自死事件

取手の友好都市・姉妹都市：米国ユーバ市とは、当時の藤代町が平成元年に姉妹都市協定を結びました。現在、中高生などのホームステイを通じて交流を深めています。

中国桂林市とは、取手市が平成2年に特別友好都市の覚書を交わしました。お互いの市民が訪問して文化などを学び、交流を深めています。